

本校の研究発表へのご参会、ありがとうございました。

ご質問いただいた内容への回答を掲載させていただきます。ご不明な点や、他にもご質問がある場合には、直接本校へお問い合わせください。

①教材の詳細（DVD、絵本、ワークシート、ピクチャーカードは何から引用か）

Genki English スーパーパック 学校ライセンス版（歌、ピクチャーカード）  
小学校英語 絵カードプリント 1400 CD-ROM ブック 学研出版（ピクチャーカード）  
を、主に使用しています。

②ワークシート作成方法（ソフトなど）

4線に打て〜る（アプリコット出版）  
Flash card Maker（アプリコット出版）  
を、主に使用しています。

③年間指導計画の詳細、年間の指導案（単語、メインのフレーズなど）

研究発表でもお伝えしましたが、今後“**We Can !**”“**Let's Try !**”等も取り入れながら計画を練り直しているところです。

④CAN-DO リストはどのように生かしているのか。（通知表は観点別になっているか）

年間の到達目標として、指導者が共通理解するためのものとして活用しています。  
通知表は観点別にはしておらず、所見を記入しています。

⑤指導案集の英語のフォントは何か。

Comic Sans です。ただ、このフォントでは、大文字のYが小文字の形で出てきてしまうので、今回は大文字のYのみ、違うフォントを使用しました。現在、よりよいフォントを検討中です。

⑥クラスルームイングリッシュをどのように校内で共有したのか。

研究授業後の講師の先生からのご指導を参考に、夏までの研修会で検討・確認・共有を行いました。また、自発的な学習の雰囲気がありましたので、研修会という機会を設けなくてもお互いに学び合っていました。

⑦5年生のプレゼンテーションは、5時間の中で完成させたのか、他にも時間をとったのか。

総合的な学習の時間「東京を案内しよう」、国語科「グループ新聞」の学習と合わせて作成しました。

⑧学年が違うのに同じ単元名があるが（ハロウィンを楽しもう、クリスマスを楽しもう）、同じことを学習するのか、違う内容なのか。

学年に応じて、学習内容を発展させています。言語材料やアクティビティも追加、発展させるようにしています。（例：中学年から少しずつ書き写す活動を取り入れる。）

⑨モジュールは、一単位学習とのつながりがあるのか、別のものとして計画しているのか。  
関連させています。

⑩モジュールが組まれている中、荒川区独自のタブレットをどのように組み込む予定なのか。

タブレット教材は、来年度から5・6年で15分×35回活用する予定です。

モジュール105回の中から35回分をタブレット教材を使う学習に充て、残りは本校で取り組んでいるORTや東京都教育委員会独自教材“Welcome to Tokyo”等を使用した学習に充てる予定です。

⑪児童の一番伸びたと思われる成果、教員の心境の変化

児童：既習表現を使い、楽しみながら、質問したり答えたりすることができるようになった点

教員：クラスルームイングリッシュを使って、テンポよく授業を進めることに自信が付いた点